

茶臼岳(雪山)山行報告

【山行日】2020年 12月24日(木) 晴れ
【集 合】栃木市運動公園P AM 6:00
【費 用】マイカー1台 : 3200円
【メンバー】CL:鈴木 石澤、清水一、福島
【コースタイム】栃木市運動公園 P6:00 = 黒磯PA
6:45/6:50 = 大丸温泉P7:20/7:50 → ロープウェイ山麓駅上ベンチ8:15/8:20 → 峠の茶屋P8:30
→ 中の茶屋跡8:50/9:00 → 峰の茶屋跡避難小屋9:35/9:45 → 茶臼岳10:30/10:45 → 峰の茶屋跡避難小屋11:15/11:25 → 登山指導センター11:55 → 大丸温泉P12:20/12:35 = ジョイア・ミーア12:50/13:25 = 栃木市運動公園P14:30



1月に天狗岳(雪山)の計画があり、事前トレーニングとして平日個人山行で茶臼岳(雪)を計画して

くれた。栃木市運動公園Pを予定通りに出発、黒磯PAでトイレ休憩。那須ICから国道17号に入り温泉街、鹿の湯と進み、八幡温泉分岐を大丸方面へ。茶臼岳が間近に見える。休暇村那須、弁天温泉を過ぎるとSリーダーが「あの左の尾根が、雪崩事故が起きた個所。」と教えてくれた。2017年3月27日、高校生の春山登山講習会での事故だった。冥福を祈り遺族の無念さに思いを馳せた。間もなく大丸温泉Pに着き車を止める。ここまでは町が除雪をすとのこと。

身支度を整え、トイレに行き、ストレッチを済ませ

る。先にトイレに行ったので出発までに30分掛かった。トイレ横の手すり付きの階段を登って行く。雪で急スロープ状態になっている。所々階段が出ているので歩きにくくはない。車道を何回か横切るとのこと。3つ目目で車道がアイスバーンになっていた。「足を真っ直ぐ下に下ろす。蹴らないように。静荷重静移動歩行で。」とSリーダーのご指導。5つ目はほとんどアイスバーン。ご指導通りに慎重に落ち着いて渡った。

6つ目でロープウェイ山麓駅に出た。その上に駐車場がある。ロープウェイは休業しているが駐車場に車が6・7台あった。Sリーダーが「職員が点検に出勤しているのだろう。」と教えてくれた。駐車場の上にベンチがあり休憩になった。空が青い。茶臼岳がまた近くに見える。真西である。登山道はここから大きく迂回して行く。



10分程で峠の茶屋駐車場。アスファルトの上を進む。左の緩斜面の道もあるが踏み跡が少ないのでSリーダーがこちらを選んだ。中央のベンチでアイゼンを付けている登山者がいた。登山指導センターへの登りが白い急斜面になっていた。「爪先をしっかり蹴り込んで登って。」とご指導。楽に登れた。「山の神」の鳥居が埋まっていた自分たちの頭位の高さになっていた。嬉しくなって写真を撮って貰う。その後も順調に登って行った。S水さんが「この下は急な階段でしたよね。」と言う。雪の上だから小股で登って行ける。

灌木の間から真っ青な空が見えている。美しいと感心していると、間もなく森林限界を過ぎた。視界が開けた。風を感じるようになった。空が広く青色が濃い。中の茶屋跡に来た。朝日岳が目の前に見える。正面遠くに赤い屋根が。峰の茶屋跡避難小屋だ。アイゼンを付けるよう指示され付けた。



。「歩く時はかかとを握り拳一つ分空けて、逆ハの字で、フラットフィッティング。」と説明を聞き歩き出す。アイゼンを付けるとまた楽しい歩きだ。しかし、直ぐに登山道の雪がなくなった。雪が風で飛ばされている。Sリーダーが「風の通り道になっていて、冬の茶臼岳は中々登れない」と言っていた。今日は穏やかな晴天に恵まれて、とてもラッキーだと思った。

右に剣ヶ峰が近付いてくる。大岩の陰に来ると雪があり順調に歩ける。日陰は雪がたくさんありまた歩き易い。避難小屋まであと50m位の所で歩き方の確認があり、左の急斜面を利用して登

り方の見本を見せてくれた。感心しながら避難小屋に進む。避難小屋の右も左も風が冷たい。中央はベンチの前に雪がたくさんある。なんとか座って休憩。柿とマーブルケーキを食べ力が湧いた。

山頂への道は左へUターンし南へ向かう。緩急があるが全体的になだらかである。雪のない箇所もある。雪を選んで登って行く。緩斜面を進み大岩の所で右の急斜面を登ることにする。5分位登ると道標があった。ロープウェイ駅への分岐。右へ鋭角に曲がる。なだらかな歩きになり展望がよくなった。素晴らしい眺めだ。剣ヶ峰、朝日岳、熊見曾根、隠居倉。その向こうに三本槍岳。山頂が広いことがよく分かった。流石山は真っ白、左に大倉山、三倉山。右奥に会津駒ヶ岳、吾妻連峰。尖っているのが燧岳とのこと。



山頂の祠を左に見ながら進み曲がる。最後の一登りを頑張り10:30に山頂に着いた。写真を撮り



パイナップルを食べる。美味しい。気温は2度。暖かい。不思議に思えたのは男体山の右に日光白根山が見えること。男体山の左に女峰山、赤薙山。いつも見ているのと逆になる。それだけ北に来ているのだな、と感じた。南の鳥居から登山者の方が登って来た。話し掛けてきた。相馬市からだそうである。鳥居から下ることにしロープウェイ分岐で元の登山道に戻った。日当たりがよく雪がないので、Sリーダーが「アイゼンを外しますか?」と言った。下りの方が心配なのでアイゼンを履いたまま進むことにする。雪の急斜面になりアイゼンで快適

に下る。シュカブラ(風雪紋)が美しい。大岩の所で登山道に戻った。雪がなくなったり出てきたりを繰り返す。牛ヶ首分岐辺りに来ると「こちら側の眺めは見納めだよ。」とのこと。真っ白な流石山をよく見取めた。避難小屋が近くなる。さすがに風の通り道。だんだん風が強くなる。雪のある中央ベンチで休憩。レアチーズケーキとビスケットを食べ、時間も早いので昼食は下山後食べることにした。朝、見本を見せてくれた場所で「天狗岳の準備、この斜面を登ってみて。」とアイゼンで急斜面登り

の練習。「もっとしっかり蹴り込んで。」と声が掛かる。3・4m登ったところで止める。これをずっと登って行くにはしっかりトレーニングしておかないと、と思った。



環境保護のためのチェーンの手前でカップルの女の子が「クリスマスだからあげまーす。」と言ってチロルチョコをくれた。有難く受け取り、雪の道を楽しく進んだ。雪がないところは丁寧にそっと歩いた。中の茶屋跡を過ぎ、雪の下りになった。アイゼンのお陰で楽に下れた。避難小屋から30分程で登山指導センターに着いた。ここからは朝と違う緩斜面の道を進む。さすがに雪が深い。あまり歩かれてないのだと分かった。

ロープウェイ駅は車が9台に増えていた。車道のアイスバーンは溶け掛かり歩き易くなっていた。最後の階段も楽に下り駐車場に着いた。アイゼンを外しトイレに寄る。靴を履き替え出発。山人クラブで寄ったことのある「ジョイア・ミーア」で落ち着いて昼食を食べることができた。昼食を済ませ外に出ると空は曇が多くなっていた。予定より1時間も早く栃木市運動公園Pに着いた。天候に恵まれラッキーな茶臼岳トレーニングだったと思った。
(福島 記)

